TAGAWA SHINSEI HOSPITAL Information Magazine

田川新生病院だより

vol.2
2020.8

信頼される心のこもった看護・介護を提供する

特集 看護部特集

社会福祉法人 柏芳会 田川新生病院
Hakuhoukai Tagawa Shinsei Hospital

For health and longevity of the community
地域の健康長寿に貢献する

特集

看護部特集

看護部長挨拶

看護部長
桑岡 結花里

私達看護部は、病院の経営理念や基本方針を大切にし、「心のこもった看護・介護」を信条に思いやりを持って、優しく、丁寧に患者様が安心できる看護・介護の提供に取り組んでいます。患者第一主義のもと、患者様と向き合い、寄り添い、お一人おひとりに適した看護・介護を常に考え、行動してまいります。この度導入致しました「セル看護」は、患者様の側で仕事を行うことで、患者様・職員双方に良い関係性を高め、リスクを軽減し安心感を大きくします。患者様に関心を寄せ、患者様の深い思いを引き出し、その思いに応えることで、患者様中心の医療を提供します。また、セル看護を通して患者様と触れ合うことで仕事のやりがいや達成感を高め、看護と介護の楽しさを実感できる職場を目指します。仕事が楽しいと各々のモチベーションが上がり、医療の質の向上につながります。この実現のために2020年度から看護部はセル看護に取り組んでいます。

看護部理念―

信頼される心のこもった看護・介護を提供する

外　来

当院外来では地域の皆様が安全・安心ができる医療を提供できるように日々看護を行っています。

通院される患者様だけでなく、かかりつけ患者様が在宅での支援を必要とされている時には主治医と連携を図りながら、訪問看護を行い安心して在宅での生活がおくれるように支援しています。流行しているコロナ感染対策について、緊急事態宣言は解除されましたが現在も感染者が発生している状況が続いています。当院でも今後の感染状況を確認しながら、患者様が安心して来院出来るように感染対策を徹底し適切な医療が提供できる体制を維持していきます。

１病棟（回復期リハビリテーション病棟）

脳血管疾患、大腿骨頚部骨折など急性期での治療後の患者様に対して身体機能、基本的動作の向上、日常生活動作（ADL）能力の向上を目的とし、集中的なリハビリテーションを提供している病棟です。回復期リハビリテーション病棟では、食事は食堂で、食後の口腔ケア、朝夕の衣服の着替え、離床を行うなど寝たきり防止と家庭や職業への復帰を目指しています。離床活動として､ラジオ体操､貼り絵、読書、テレビ鑑賞などを行い、セラピストと行う月１度のイベントも催しています。

患者様の状態に合わせた自主訓練のサポートや、栄養評価に携わり摂食機能訓練も行っています。セラピストによるリハビリ以外の時間は、看護・介護職が大きく関わります。出来るADLがしているADLになることを目指し、患者様にとっての生活の質（QOL）を常に考え最良・最適なリハビリテーションを目標に、多職種がチーム一丸となって取り組んでいます。

２病棟（障害者施設等病棟）

神経難病、脊髄損傷等の重度障害、重度意識障害の患者様を主として入院療養を行って頂く病棟です。当病院は田川地区では障害者施設等病棟を有する唯一の病院で、入院の約７割が神経難病の患者様です。看護配置基準 10：１のスタッフを配置し、「安全・安心・安楽で快適な療養環境を提供する」を目標に日々看護・介護を行っています。

また、家族様が介護疲れや所要等で一時的に在宅介護が困難となった場合や、呼吸器などの医療機器や内服の調整・管理が必要な方を対象にレスパイト入院の受け入れを行っています。入院中はリハビリや離床活動を行い身体機能の維持・向上に努めています。家族様の介護負担軽減のためにより良い介護方法を検討し、退院時に指導等も行っています。

令和２年４月より看護師による摂食機能療法を開始しました。経腸栄養から経口への移行、食形態の向上、誤嚥性肺炎の予防を目標に取り組んでいます。

患者第一主義実現のために
～「セル看護」提供方式導入～

「セル看護」はアメリカ、シアトルにあるヴァージニア・メイソン病院で開発された「ナージング・セル」を元に、飯塚病院が日本で展開した看護方式です。基礎にあるのはトヨタの生産方式を一般化した「リーン生産方式」ですが、これは顧客に付加価値を与える事に集中するというもので、「セル看護」の目的も患者様へ価値を与える事にあります。

2014年に当院幹部の者がヴァージニア・メイソン病院を視察した際、「ナージング・セル」という看護方式を目の当りにしました。何とかこの看護方式を当院に取り入れられないかと考えておりました所、飯塚病院が日本版「ナージング・セル」を開発された事があり６年越しでこの看護方式を当院にも導入する事が出来ました。

「セル看護」とは病棟を「セル（細胞）」と言う単位に分けて看護師がそこに常駐するイメージです。要するに患者様の側に看護師がいて見守るという事です。

看護師が患者様の側に居る事は、病状の変化に即座に対応できる、転倒・転落を抑制出来る、患者様に安心感を与える、医師やリハビリテーション・スタッフなどの多職種と患者様のすぐ側で情報を共有出来る・その場で問題を議論出来る等々、医療にとって数多くのメリットがあり、患者様にとって多くの価値を提供出来るという看護方式です。

「セル看護」は、当院に入院される方に大きな価値を生み、より早くより健康に退院出来る様に出来ると考えます。皆様の御期待に添う為に、これからも田川新生病院は改善していきます。

院長　光永　吉宏

褥瘡発生「0」を目指して

当院の褥瘡対策委員会では褥瘡発生予防や対策に関する検討を行い、「褥瘡を作らない、持ち込褥瘡の早期回復」を目標に活動をしています。

当院での過去10年間の褥瘡発生率が0.23%／年と低く、褥瘡治療目的で入院される患者様もおられます（全国平均1.28%／年）。

看護職員の「褥瘡」に対する意識の高さと必ず治療させるという意気込みは素晴らしいものであり、大きな誇りであります。医師からもかなり高い評価をもらっています。

全職員を対象とした院内勉強会を開催し、講演や実習を行っております。また、事例発表会も実施し、事例を通しての学びも深めています。多職種協働で介入を行い、予防や治療、栄養改善に向けて取り組んでいます。予防や対策の重要性を学び、今後の治療やケアにつながる活動を行っています。他施設の皮膚・排泄ケア認定看護師の派遣による指導・教育も仰いでおります。

治療に際して、日本褥瘡学会発行の褥瘡予防・管理ガイドラインに沿って当院でのマニュアルを作成し、予防や治療に専念しています。

当院、訪問看護師は「日本褥瘡学会在宅褥瘡予防・管理師」を取得しています。

在宅褥瘡予防・管理師とは、在宅療養における褥瘡予防や処置・治療における専門家として適切な対応を行います。

看護師　鈴木　綾美

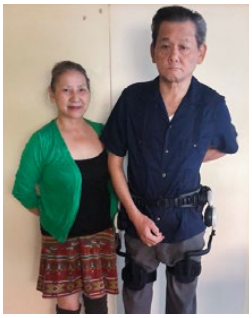
災害支援ナース登録しました！

災害支援ナースとは、看護職能団体の一員として、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるよう努めるとともに、被災者が健康レベルを維持できるように、被災地で適切な医療・介護を提供する役割を担う看護職のことです。都道府県看護協会などが主催する一定の研修を受講することで登録を行えます。

Ｈｏｎｄａ歩行アシストを導入しました。
～「妻と一緒に散歩をしたい」その想いの実現に向けて～

田川新生病院訪問リハビリテーションは先進的で効果のあるリハビリテーションを患者様に提供するために、車づくりで定評のある本田技研工業の歩行アシストロボットを導入しました。このロボットは、内蔵しているモーターで利用者様の歩行を補助し、歩行機能の改善を促します。

現在、このロボットを用いたリハビリテーションを行っている利用者様の中の一人、Ａさんの様子をご紹介いたします。Ａさんは昨年、脳卒中を患い、右上下肢の不全麻痺となりました。そんなＡさんの目標は「妻と一緒に散歩をしたい」でした。当訪問リハビリテーションはこの想いに応えるべく、週３回のリハビリテーションの中でロボットを用いたリハビリテ―ションを実施しております。実施している訓練は、ロボットを装着した実際の散歩コースでの歩行訓練や玄関の段差昇降訓練です。訓練後には「歩幅が広がった」、「足が上がりやすくなった」など、効果を実感して頂いております。



この様に利用者様の「人生の想い」を実現するために田川新生病院訪問リハビリテーションは、先進的なロボットを導入し新たな挑戦を行っております。皆様も興味をお持ちになられましたら是非田川新生病院訪問リハビリテーションまでお問い合わせください。

自動車運転シミュレーターが新しくなりました

自動車運転シミュレーターとは、アクセル、ブレーキ、ハンドル操作など運転環境の模擬的な再現により、予知予測・判断を行いながら運転操作を行う評価システムです。

今回、３面ディスプレイ使用に一新し、広い視野での確認作業が可能になり、リアルな運転環境を体感できるようになりました。また、軽度な半側空間無視（視力には問題ないが、視野空間の半分を見落としてしまうなどの症状）の評価が追加され、視野に不安がある方への評価が可能となりました。

外来の診療体制について

膠原病・リウマチ内科の内野医師と糖尿病内科の牧医師が加わり、診療体制が新しくなりました。
体制の詳細につきましては裏面の医師担当表をご覧ください。

膠原病・リウマチ内科

内野　愛弓

火曜日の午前のみ※不定期

以前にいらっしゃった永野医師に代わり飯塚病院よりお越しいただいております。

糖尿病内科

牧　俊允

毎週月曜日の午前のみ

血糖のコントロールが上手くいかないなど、食生活や日常生活等のお悩みがある方は、ぜひご相談ください。

当院の外来のみを特集した臨時号を近日発行いたします。どうぞ楽しみにお待ちくださいませ。

第２回　「食事は元気の源！ 健康長寿と栄養について」

３大栄養素と言われている「炭水化物･脂質･たんぱく質」の中でも、健康長寿に関係が深い栄養素はたんぱく質になります。たんぱく質は筋肉を作るために必要不可欠であり、筋肉が少なくなると寝たきり等になり易くなります。たんぱく質は主に肉・魚・大豆製品・乳製品に多く含まれています。厚生労働省が出している「日本人の食事摂取基準」が今年度改定となりました。食事摂取基準はどの栄養素をどの程度摂るべきか示されています。今回の改定でこれまでよりも高齢者のたんぱく質摂取量の基準が上がっています。いつまでも自立した生活を送る為にも、たんぱく質をしっかり摂取し筋肉を維持して元気に過ごしましょう。

＊疾患によってはたんぱく質制限が必要な場合もあるため、主治医に相談しましょう。

医師担当表

R2.5.1

受付時間＼曜日	月	火	水	木	金	土
8時30分 〜 11時00分	脳神経内科 田中 (9:00〜)	内科［呼吸器内科］ 阿　部	内科［脳神経内科］ 光　永	内科［脳神経内科］ 光　永	内科［呼吸器内科］ 阿　部	
	内科［糖尿病内科］ 牧	内科［こう原病・リウマチ］ 内野 (不定期)	内科［呼吸器内科］ 阿　部	内科［漢方診療科］ 後　藤	内科［総合診療科］ 柏　木	
	整形外科 新　井	循環器内科・心臓血管外科 安藤 (不定期)	整形外科 新　井		整形外科 新　井	
		整形外科 小　林				
13時30分 〜 16時00分	脳神経内科 光　永 (新患：予約) 13:30 〜	内科［呼吸器内科］ 阿　部	内科［呼吸器内科］ 阿　部	脳神経内科 田　中	内科［呼吸器内科］ 阿　部	
	皮膚科 飯塚病院	循環器内科・心臓血管外科 安藤 (不定期)				
	泌尿器科 鍋島 (第2、第4)	整形外科 小　林				

※ 上記医師担当表は令和２年５月現在のものになります。随時変更していますので、詳しくはホームページをご覧ください。
※ 月曜午後の光永院長の診察は、新患のみの予約診察となります。
※ こう原病・リウマチ科と脳神経内科の新患は予約制となっております。詳しくはお問合せください。

編集後記

新型コロナ禍が収束しない中で皆様はいかがお過ごしでしょうか。

広報誌名を「田川新生病院だより」に改称し第１号を発刊した折には新型コロナウイルス感染症が発生し広報活動の自粛を余儀なくされました。

そんな中でも当院の広報誌を手に取り目を通して頂きましたお陰で、この度第２号を発刊する運びとなりました。

新型コロナ禍の中で今だからできることを求め更に広報活動の活性化に努めます。よろしくお願い致します。

広報委員会　吉松

社会福祉法人　柏芳会
田川新生病院
Hakuhoukai Tagawa Shinsei Hospital

〒825-0004　福岡県田川市大字夏吉3638番地
TEL：0947-44-0690　FAX：0947-46-0568
https://www.tagawasinsei.jp/

編集・発行：田川新生病院広報

QRコードから
HPへアクセス

田川新生病院　検索